

平成18年1月29日

第111回光応用・視覚技術委員会議事録

光応用・視覚技術委員会
委員長 高橋 信一

- . 日 時：平成18年10月27日(金) 14:00～16:30
- . 場 所：日本交通協会第1会議室
- . 出席者：高橋委員長、板倉、岡田、亀井、清水、関根、玉川、中瀬、堀内、綱脇 各委員
篠田幹事
- . 配布資料
 - No.111-01 第110回光応用・視覚技術委員会議事録(案)
 - No.111-02 光応用・視覚技術委員会中期目標
 - No.111-03 1月以降の電子投稿・査読システムでの専門領域(カテゴリ)作成の御
願い
 - No.111-04 共通英文論文誌レビュー論文執筆者推薦のお願い
 - No.111-05 電気学会 A部門誌 英語論文特集号提案の御願い
 - No.111-06 電気技術発展の長期ビジョンに関するお願い
 - No.111-07 光応用・視覚研究会
 - No.111-08 平成18年度光応用・視覚技術委員会活動状況報告
 - No.111-09 A部門技術報告の発行・売上状況表
 - No.111-10 第6回リソグラフィ先端技術調査専門委員会議事録
 - No.111-11 第3回安全・安心のための赤外線技術調査専門委員会議事録
 - No.111-12 電気学会各賞(優秀技術活動賞等)ご推薦のお願い
 - No.111-13 光応用・視覚技術委員会 平成18年活動予定/平成19年度活動予定
 - No.111-14 光応用・視覚技術委員会名簿

. 議事

1. 前回議事録の確認

配布資料No.111-01に基づき、篠田幹事より前回議事録が読み上げられ、「V. 議事
2. 1 9)」の文末に句点を加筆して、承認された。

2. 報告および審議事項

2. 1 光応用・視覚技術委員会中期目標について

高橋委員長より配布資料 No.111-02 に基づき、標記について説明があり、審議の結果、
以下を修正した。

日本光学会(応用物理学会) 日本光学会
レーザー学会等 レーザー学会・日本赤外線学会等
日本物理学会 応用物理学会・日本物理学会
日本エム・イー学会 日本生体医工学会

7.(3) 安心・安全のための 7.(3) 安全・安心のための

2.2 A部門大会の報告

高橋委員長より標記について報告があり、懇親会で板倉委員の特別表彰を代理受領した報告があった。板倉委員より特別表彰の御礼の挨拶があった。

2.3 専門領域(カテゴリ)に関して

高橋委員長より配布資料No.111-03に基づき、メール審議した結果を調査運営委員会に提出した旨の説明があり、審議の結果、「色彩」関連を今後入れる方向とした。

2.4 共通英文論文誌レビュー論文執筆者推薦についての報告

高橋委員長より配布資料No.111-04に基づき説明があり、本技術委員会は「特に、なし」で回答した旨の報告があった。

2.5 A部門誌英語論文特集号について

高橋委員長より配布資料No.111-05に基づき説明があり、審議の結果、リソグラフィー先端技術調査専門委員会の最終報告書を論文特集号として、検討していただくことになった。それに伴い、特集号の場合には著者に電気学会会員を含まない場合でも良い方向にしていだきたい旨を運営委員会に要望することにした。

2.6 電気技術発展の長期ビジョンに関して

高橋委員長より配布資料No.111-06に基づき説明があり、回答した旨の報告があった。

2.7 研究会について

清水委員より委員会の解散報告書の代わりに1月12日に研究会を開催したい旨の説明があり、審議の結果、研究会資料をもって解散報告書とすることを了承した。また、高橋委員長より10月2日、9月8日に開催された研究会の報告があった。

2.8 見学会について

岡田委員より9月に産業技術総合研究所の見学を予定していたが、訪問先の研究室の都合もあり、今回の企画は中止になった旨の報告があった。

2.9 A部門技術報告の発行・売上状況表

高橋委員長より配布資料No.111-09に基づき説明があり、一部が12月末に廃棄される予定となっており、12月まで40%引きで販売する旨の報告があった。

2.10 調査専門委員会の活動報告

1) リソグラフィ先端技術調査専門委員会

堀内委員より配布資料No.111-10に基づき、第6回委員会は6月9日に開催し、「スキャットロメトリー - インライン CD 計測の最適化 - 」および「PMJ2006 Panel Discussion(Mask technologies for EUVL)報告」について講演していただいた旨の報告があった。

2) 安全・安心のための赤外線技術調査専門委員会

網脇委員より配布資料No.111-11に基づき、第3回委員会は6月8日に開催し、「科学捜査における赤外線」および「赤外線による非破壊検査」について講演していただいた旨の報告があった。

3) 新しい光源とモデリング・計測調査専門委員会

岡田委員より11月24日、12月、平成19年の1月、3月に委員会を開催して、解散報告書をまとめる予定であり、解散報告書は数値計算のソースコードを公開するため、

CD-ROM形式とする予定である旨の報告があった。

2.1.1 平成18年度、19年度の活動計画について

配布資料No.111-13に基づき、各調査専門委員会の活動日程の確認を行った。岡田委員より、新しい光源とモデリング・計測調査専門委員会が平成19年5月末に終了するのに伴い、現在のモデリングの内容を一層深めることを目指して、本調査専門委員会を継続して行いたい旨の説明があった。

2.1.2 調査専門委員会の新設に関して

高橋委員長より新規の調査専門委員会の設置の説明があり、審議の結果、「視覚関連」や「LED照明関連」の分野を中心に設置する方向で検討を進めることになった。

2.1.3 委員の退任

高橋委員長より配布資料No.111-14に基づき、1号委員の木村委員が任期満了に伴い、退任することになった旨の報告があった。

2.1.4 次回委員会について

日時：平成19年1月29日(月)14:00~17:00

場所：日本交通協会第1会議室

以上